

シンガポール拠点で高機能透明樹脂（MS樹脂）の増産設備を竣工
～年間生産能力を約14万トンに倍増し、スペシャリティ事業を強化～



<DSPL セラヤ工場>

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）のシンガポール子会社 Denka Singapore Private Limited（DSPL）は、セラヤ工場を進めていた高機能透明樹脂：MS樹脂（*）の増産設備を竣工し、7月1日から稼働を開始しました。これにより、当社MS樹脂生産能力は年間約7万トンから約14万トンに倍増し、拡大する需要に対応してまいります。

MS樹脂は高透明性や低吸湿性による寸法安定性などの特長を持ち、液晶テレビやPCモニターのバックライト用導光板等の光学用途に加え、中国を中心としたアジアにおいて成長著しい化粧品用容器等の非光学用途まで使用されています。テレビ・モニターの省エネルギー・大画面化・狭額縁化や化粧品容器の高品質化へのニーズが高まる中、当社は2019年9月に、汎用ポリスチレン生産設備の転用・改造による生産能力の増強を決定致しました。

当社は、経営計画「Denka Value-Up」において基盤事業のスペシャリティ化を成長戦略の柱のひとつに掲げ、ポリマーソリューション部門においては今回設備増強を実施したMS樹脂をはじめ、シュリンクラベル等で使用されるSBC樹脂（クリアレン®）や、自動車の内外装材用途に使用される耐熱付与材（デンカIP®）などの高機能・高付加価値スチレン系機能樹脂に注力しております。今後もSDGsを羅針盤に「誰よりも上手くできる仕事への集中」によるポートフォリオ変革と更なるスペシャリティ化を進め、真に社会に必要され「社会にとってかけがえのない存在となる企業」を目指してまいります。

以上

1. 投資概要

- ・投資拠点：Denka Singapore Private Limited Seraya Plant（セラヤ工場）
- ・投資内容：ポリスチレン製造設備の改造によるMS樹脂能力の増強
- ・投資金額：約27億円

2. 業績への影響

本件は2021年度当社連結業績予想に織り込み済みです。

(*)MS 樹脂 (Methyl Methacrylate-Styrene Copolymer)

スチレンとメタクリル酸メチルの共重合体。

吸湿性が低いことによる寸法安定性をはじめ、低比重、良成型性などの様々な機能を持っています。当社シンガポール拠点では連続プラントでの精密重合技術を活かした低コンタミ、良外観を備えた高性能樹脂の製品を安定生産できる技術を有しており、製品に加えて生産技術においても他社との差別化を図っており、国内外のユーザーから高い評価を受けています。



【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社ホームページ）】

・2019年9月9日 「シンガポールにおけるポリスチレン生産設備転用による MS 樹脂増産決定のお知らせ」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/642/20190909_denkasingapore_mspolymer_increase.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

【お客様からのお問い合わせ先】

ポリマーソリューション部門 機能樹脂部 電話：03-5290-5553